

「元気が一番」塾

2005.10.15 優しい風 (Loving-wind) 仲島

(<http://www2.bbweb-arena.com/naka602>)

1. 人権教育は、生きる基盤になるもの。

- ・人権教育とは、人間が幸せに生きるためのもの。
- ・人権を学ぶとは、人と人のつながりの温かさ、素晴らしさを学ぶこと。
- ・学校教育、学級づくり、子育ての基盤になるものが、人権教育。

2. 同和教育って何？

- ・同和教育の成果と課題。 まだ、同和問題は解決していない。
- ・同和問題をしっかり勉強してほしい。実は教師が差別を作ってきたのだ。
- ・ぜひ、みてほしいビデオ「部落の心を伝えたい」シリーズ

2. 人権教育と同和教育の違いは？

- ・「同和教育から人権教育に」なのか？「同和教育を人権教育に」なのか？
- ・「部落差別の解消を基盤」から「人権尊重を基盤に」へ
- ・同和問題を解決するためにも人権教育で進める
- ・アサーティブネス（非攻撃的自己主張）の進め方を
- ・参加型学習だけでは変わらない。不易流行、温故知新

3. 人権教育と道德教育の違いは？

- ・違いを見つけることが大事なのか、同じところを見つけることが大事なのか？
- ・人権教育と道德教育の同時達成
- ・道德の時間は、人権の時間なの？ 人権の時間はいつなの？

4. 魅力ある人権懇談会にするために

- ・難しいことを易しくかみ砕いて話す。自分の言葉で話すとわかりやすくなる。
- ・学級の子どもの話をする。子どもの暮らしと人権教育をつなぐとわかりやすい
- ・人と人のつながりの豊かな例、感動の例を紹介する。
- ・優しいという漢字、差別の冰山、4つの心の窓、4つの人権教育の内容、人権教育丸の出航、→これならわかりやすい、というものを。
- ・宣伝と報告を忘れないで。学級通信の活用等、先生が動けば必ず保護者は向いてくる
→来てくれないと嘆くより、自分から動いていく

5. 「今度もまた来たい」そんな人権懇談会の例 （別紙）

6. ♪世界中の優しさでこの地球をつつみたい♪ I believe in future